

赤こんりポート

松村美沙枝リポーター



一歳の記念を地域でお祝い いっしょうもちあげ大会開催

9月8日、市民共生センターで、ママパスポート近江八幡・竜王版主催の「いっしょうもちあげ大会」がスタートしました。一生の健康を願う赤ちゃん向けの行事「一升餅」。急に背中に感じる重みにびっくりし泣いてしまったり、逆に力強く進んでいたり、それぞれ心に残る思い出ができたようでした。「生まれてきてくれてありがとう」という気持ちを込めて、地域のお店や企業からプレゼントもあり、ママの笑顔もあふれていました。ママパスポートでは、今後も定期的に開催予定です。詳しくはSNSやホームページなどをご覧ください。

赤こんりポート

今井良治リポーター



きみもマンガ家になれる！

湖国出身の漫画家ひらまつとむさんによるマンガ教室が8月20日、県立男女共同参画センターで開かれ30人余りの小学生が参加しました。紙と鉛筆1本で無限の可能性に挑戦できる漫画の魅力にふれてもらおうと近江八幡市子ども会育成者連合会の主催で3年ぶりに開催されました。「キャラクターを描く際は目が一番大事」「フツーはダメ、大胆奇抜な発想を」など、ひらまつさんの話に耳を傾ける子どもたち。薄い線で下書きした人気漫画のキャラクターをトレースしたり、四コマ漫画の描き方のコツを楽しく学んだりしていました。



赤こんりポート

東恵子リポーター



小5生がむしゃらキックオフ！ 奥井グループカップ開催

秋めいた風が吹き抜ける、健康ふれあい公園人工芝サッカー場で8月28日、第2回奥井グループカップが開かれ、県内外の強豪12チームが熱戦を繰り広げました。

桐原JFCが主催する小学5年生の大会で、総合建設業などを営む奥井グループが共催しています。「息子3人が入団していることもあり、地域に貢献したいと思いました。サッカーを通して、悔しさや喜びを感じ、乗り越えて次につなげて欲しい」と、代表の奥井敦史さん。

市内で唯一の参加チーム、桐原JFCは3位と健闘。表彰式には、タレントで整体師の楽しんごさんやヴィアベンテン滋賀を率いる元Jリーガーの村田和哉さんらも駆けつけ、会場を沸かせました。

9月11日



目指せ！未来のオリンピック選手 2022 チャレンジジュニアアクアスロン開催

トライアスロンから自転車を省き、水泳とランニングを組み合わせた「アクアスロン」の練習会が健康ふれあい公園で開催され、小学生ら30人が汗を流しました。

近江八幡市トライアスロン協会の会員から、ランとスイムの手ほどきを受けた参加者らは、3人ずつに分かれて競技を開始。屋内プールをクロールで泳ぎ終わると、外に出てシューズに履き替え、サッカー場の周りに設けられたランのコースへ。応援に訪れた家族らの声援を浴びながら、最後まで力を振り絞って駆け抜けました。

8月30日



世界水泳選手権2冠 乾選手に市スポーツ優秀選手賞を授与

ハンガリーのブダペストで開催された「第19回世界水泳選手権」でアーティスティックスイミングのソロ・テクニカルルーティーンとソロ・フリールーティーンで2冠を達成した乾友紀子選手が、市役所を訪れ小西理市長らに報告しました。

市長からお祝いの言葉とともに「市スポーツ優秀選手賞」が贈られると、乾さんは「あきらめずに続けてきてよかったと思える大会でした。来年福岡で世界選手権大会が開催されるので、日本の皆さんに生で演技を見てもらい、さらに進化した姿を見せられるように頑張っていきたいと思います」と今後の意気込みを語りました。

9月7日



初秋にはじける笑顔 金田小学校で稲刈り体験

金田小学校近くの水田で小学5年生の4クラス計151人が、JAグリーン近江の職員の指導のもと稲刈りを体験しました。この稲は5月に子どもたちが手作業で植えたもので、約半年間「総合的な学習の時間」として稲の育ち方から収穫までを学びながら大切に育ててきました。

JAの職員から稲の刈り方や鎌の使い方を教わった子どもたちは、稲刈りに挑戦し、2、3束ずつ刈り取っては、コンバインまでもっていくという作業を繰り返しました。子どもたちは、たくさん実った稲に喜びながら収穫を楽しんでいました。

8月21日



おしゃれなハッピーアイテム のびる布でロゼットをつくろう！

ロゼットづくりのワークショップが永原町元にある禧長^{きちやう}で開催されました。このイベントは10月8日から始まる国際芸術祭「BIWAKO ビエンナーレ 2022」の関連イベントとして開催されたもの。

ロゼットとはリボンや布などで作るバラの花形の飾りで、今回はレオタードの素材などにも使われるのびる布が用いられました。

造形作家の宇野裕美さんからアドバイスをもらいながら、参加者は好みの色のリボンや造花、ボタンなどを組み合わせ、思い思いにロゼットの制作に取り組んでいました。

8月28日



迫力の声の演技！ 耳から聞く文学・声優朗読劇を開催

近江八幡図書館で声優朗読劇が行われ、約60人が参加しました。中野順哉さん作の「日光三剣士伝」は、ヒヤッとさせるホラーの要素を取り入れたブラックユーモアのある作品で8月の暑い季節にぴったり。生きる意味を探るために怨霊と旅をする、青年武士の話でした。

若手声優の竹内宥貴さん、湯浅開登さん、青木拓磨さんの3人が織りなす軽妙な語り口と、フルート奏者の雨林美由紀さんが演奏する不安げな音楽に引き込まれた参加者は、時にクスッと笑いながら、声の魅力に聞き入っていました。